

町内の防犯灯 3909基を全LED化

総務教育
常任委員会



LEDに切り替わった防犯灯

2月17日 協議会開催

町内の防犯灯3909基を、平成27年度中に全てLED化。

Q 環境に対する効果は。
A 消費電力の低減により、CO₂排出量を約55%削減できる。

Q 費用面での効果は。
A 電気料金は、年1200万円が約6200万円に低減されると予想。維持管理費は、年約3800万円、約60万円安くなる。

ふるさと寄附制度の導入

町にふるさと寄附をした人に、返礼品を送る制度を4月中に導入する。

Q 対象者は。
A 町外在住者。
Q 返礼品の内容は。
A 町内の特産品、工業製品やサービス。

Q 寄附の申し込み方法は。
A インターネットの楽天市場でクレジット決済するか、役場窓口へ直接申し込む。

福祉産業建設
常任委員会

新斎場の使用料 (案) 示される

2月9日 協議会開催

平成28年7月開所予定の蒲田市幸田町衛生組合新斎場の使用料(案)が示された。
Q 現行料金との比較はどうか。
A 料金は、従前より安く設定されている。
Q 新料金の県下比較は。
A 県下の大半の市町より安価となる。



開所間近の新斎場 (とぼねセレモニーホール)

国民健康保険
データヘルス計画

超高齢化社会を迎え、生活習慣や疾病構造が変化する中、データヘルス計画を策定し保健事業の実施・評価に取り組む。

Q PDCA(計画・実施・評価改善)の取り組みは。

A 計画期間は2年間。

特定健康診査・指導を強化し、各種教室を開催。

Q 特定健康診査の受診率

向上の対策は。

A 未受診者には傾向を調べ年齢層にあった丁寧な案内をしていく。

防災・減災対策 特別委員会

地域防災計画の 修正を協議

2月8日 協議会開催

幸田町地域防災計画の修正

Q 応急仮設住宅の設置は、グラウンドや小学校の運動場となるが臨機応変に設置する。

A 要配慮者の確認は、登録状況は5%ほどにとどまっている。

平成27年度地区防災訓練

Q 未実施区への依頼は、区長会で依頼する。

A 訓練における反省点は、回を重ねるごとに問題点を見つけ、次への対策としている。

Q 要配慮者の安否確認は、行政と地元が情報共有できるように整えたい。

土砂災害警戒区域指定

Q 今後の指定予定は、町には414箇所の候補地があり、5年間で基礎調査を完了する目標。



六栗の土砂災害警戒指定区域

住宅耐震改修など先進地視察

2月2日・3日 兵庫県
芦屋市、淡路市、神戸市
を視察

芦屋市

阪神・淡路大震災で市内の多くの家屋が倒壊、街の風景が一変した。その後、市は簡易耐震診断推進事業と住宅耐震改修促進事業をすすめる、県の事業との連携で復興をすすめていた。

淡路市

野島断層保存館

兵庫県南部地震の中で震源に最も近い断層である野

島断層の変位した断層面が見学できる施設である。防災教育にこの施設が果たす役割を認識することができた。

神戸市

人と防災未来センター

阪神・淡路大震災から得た貴重な教訓を世界共有の財産として後世に継承し、国内外の地震災害による被害軽減に貢献すること、生命の尊さ、共生の大切さを世界に発信することを目的としている。



屋根付きで保存された野島断層

幸田駅前広場 基本計画示される

幸田・三ヶ根駅前
整備特別委員会

2月5日 協議会開催

幸田駅前広場等基本計画

駅東、駅西、広田川西に
交通広場を設け、自由通路
で3つの広場を結び、交通
機能の強化を図る。

Q J・Rとの協議は。

A 自由通路と橋上駅は一
体。町の考えを伝えたい。

Q 駅東に駐車場が少ない。
A 駅西に立体駐車場も設
け、不足分を補つ。

Q 地上階を有効活用でき
る広場にすることは。

A 今後検討の必要がある。
Q 自由通路は日中、人が
歩く場所になるか。
A 間に商業施設や憩いの
場があり、緑の山を眺め
られる魅力ある計画にし
たい。

幸田駅前土地区画整理事業

進捗率は事業ペースで76
・3%、建物移転では94
・9%。79軒の内、75軒が終
了。残り4軒は28年度の予
定。
電線地中化工事は、全1
88・3mを完了。



電線地中化工事がすすむ幸田駅前

がんばる駅前商店街を視察

1月19日から21日まで
5市町の商店街などを視察

奈良市餅飯殿センター街

近鉄奈良駅より徒歩5分。
空き店舗を若い起業家の
「卵たち」に低家賃で提供
新しい魅力が新たななごわ
いを創出していた。

奈良県王寺町駅前再開発

大型集合施設「リーバー
王寺東館・西館」は地域の
生活拠点。両館を2階デッ
キで結び、駅にも直結して
おり、利便性が確保されて
いた。

奈良県天理市本通商店街

駅から天理教本部へ続く
110店舗。
空き店舗を産業振興館に
改修し、若い人の創業支援
や大学と連携したイベント
開催。ご当地ブランドなど
の情報発信基点にする。

岐阜県垂井町駅前整備

駅は橋上駅で、南北を自



「リーバー王寺」で再開発の説明を受ける

由通路で結び、町の玄関と
して良く整備されていた。

滋賀県多賀門前町商店街

多賀大社の参拝客は年間
170万人。

駅から続く参道のにぎわ
いづくりに「多賀そば」の
普及に力を入れている。

抗酸化イチゴの栽培に取り組む

地方創生特別委員会

2月4日 協議会開催

幸田町ひと・まち・しごと創生総合戦略は、3月に内閣府に提出。

事業内容は、低温プラズマ技術による新産業創出で、町と名古屋大学、豊根村と連携し、チヨウザメ養殖の研究がすすんでいる。

Q 本町での農業分野への展開は。

A 農協とイチゴ農家と連携し、抗酸化イチゴの栽培に取り組む。

Q 健康への安全性は。遺伝子組み替えてなく

細胞刺激である。厚労省も確認済み。

企業立地の状況

最近の状況が報告された。

①久保田凧山地区

継続して優良企業を探していく。

②須美前山地区

企業庁と調整中である。

③須美東山地区

調整区域の地区計画をすすめている。

④野場松ノ本地区

秋頃に新工場建設予定。

⑤桐山上六栗地区

秋頃に建設計画が具体化する。



荻谷小学校のイチゴ栽培

議員研修会

平成28年2月1日、「自治体の地域防災と災害時の議会・議員の役割」をテーマに、跡見学園女子大学教授 鍵屋一氏を講師に議員研修会を開催した。

阪神・淡路大震災の教訓

- ・家が壊れると火が出やすいので、まず火を消す。
- ・重いタンスが命を奪うなど、マイホームは凶器となる。
- ・要配慮者の迅速な救助体制。
- ・弱者に厳しい避難所生活の実態。



災害時の議会・議員の役割を学ぶ

・中学生への救命講習会の必要性などを中心に講義。

議会や議員の役割として

- ・まず、自分が被災しない。
- ・議員は、災害対策本部と被災者とのパイプ役。窓口を議長に一元化し、情報収集に努め、必要な支援をする。

・議会活動を中止し、地域で支援活動をする。

・視察者などへの対応や外部との折衝を支援する。

・災害対策本部に議員は含まれていないが、東日本大震災の時、東松山市では議長が常駐した。

南海トラフ巨大地震に備えるためにも議員の災害時対策マニュアルの必要性を感じた。



笹野康男議員 自治功労者表彰

3月2日の定例会開会日に、全国自治功労者表彰と町長感謝状が贈呈され、大須賀町長から敬意と感謝の言葉がありました。これは、議員在職15年以上の功績によるものです。